

平成23年度
公開シンポジウム

気候大変動の 時代に生きる

自然との共生の知恵を求めて

参加
無料

プログラム

第1部

司会

西岡 秀三 (文部科学省技術参与・プログラム統括)



革新プログラムと今回のシンポジウムについて

松野 太郎 (文部科学省技術参与・プログラム統括/海洋研究開発機構)



【講演】

■ 300年後へのシナリオの選択・
避けられない30年後の気候変化



時岡 達志

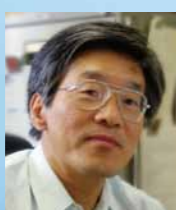
(海洋研究開発機構)



木本 昌秀

(東京大学大気海洋研究所)

■ 将来の豪雨・台風とそのままらす災害は？



鬼頭 昭雄

(気象庁気象研究所)



中北 英一

(京都大学防災研究所)

第2部【パネルディスカッション】

モデレーター

住 明正 (東京大学サステナビリティ学連携研究機構)



テーマ

気候シミュレーションから見えてくるリスクへの対応

パネラー



江守 正多

(国立環境研究所)



三村 信男

(茨城大学)



安井 至

(製品評価技術基盤機構)

第1部 司会

西岡 秀三

(プログラム統括)

日時

平成23年8月22日(月)

13:30~17:00(開場13:00)

場所

一橋記念講堂

学術総合センター内
東京都千代田区一ツ橋2-1-2

■ 東京メトロ半蔵門線、
都営地下鉄三田線、
都営地下鉄新宿線・神保町駅下車
A8出口から徒歩3分

■ 東京メトロ東西線・竹橋駅下車
1B出口から徒歩4分



定員

500名 (事前の予約が必要です。下記URLよりお申込み下さい。)

主催

海洋研究開発機構

事前登録

<http://www.jamstec.go.jp/kakushin21/jp/symposium2011>